

法学部を卒業する皆様—「大学教育の達成度調査」へのご協力をお願い

2024年3月15日
法学部長 山本 隆司

本年度、法学部を卒業する学生の皆様、おめでとうございます。皆様におかれては、コロナ下の厳しい学習環境を経験されながらも、弛まぬ研鑽を積み重ねてきたことに心より敬意を表します。

卒業される皆様に、1つご協力をお願いをさせていただきます。

すでに本部学務課からも、また法学部学部チームからもご連絡させていただいていますが、東京大学では、毎年度、卒業する学部学生を対象に、「大学教育の達成度調査」（以下、「本調査」という）を実施しています。本調査により、全学的にデータが集計されるだけでなく、学部別のデータも提供されますので、法学部としても、学生目線で見えた法学部教育、法学部生活を把握するための重要な調査として重視し、積極的に取り組んできました。

本調査は、コロナ禍前の2018年度までは、学位記授与式の会場で紙媒体の調査票を配布し、学位記を授与する際、記入済み調査票をご提出いただくという方式で実施し、毎年度ほぼ100%に近い高い回収率を実現していました。これに対し、一昨年度からは、時代の流れを踏まえ、特に集計作業の効率化を図るため、全学的にオンライン方式で実施することとなりました。端末があればどこからでも回答できるという便利さもありますので、卒業する学部学生の皆様には、本調査の重要性をぜひともご理解いただき、引き続きのご協力をお願いいたします。

この関係で1つお断りをいたします。調査を通じ信頼性・有用性の高い知見を得るためには、高い回収率を確保することが不可欠です。すでに「法学部学位記伝達式について」でご案内のとおり、本年度の学位記授与にあたっては、本調査に回答済みであることを確認させていただきます。具体的には、本調査に回答すると、回答者のECCSクラウドメールのアドレス宛てに回答済みであることを示すメールが送信されますので、学位記授与の際には、そのメールをご提示ください。これは、紙媒体の調査票を用いていた当時の本調査の実施方法に準じたものです。

学位記授与の際、一手間おかけすることになりますが、有用性の高いデータを得るためには、皆様のご協力が不可欠ですので、どうかご理解をお願いいたします。